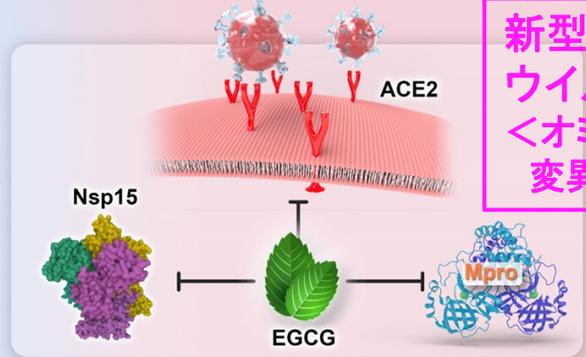
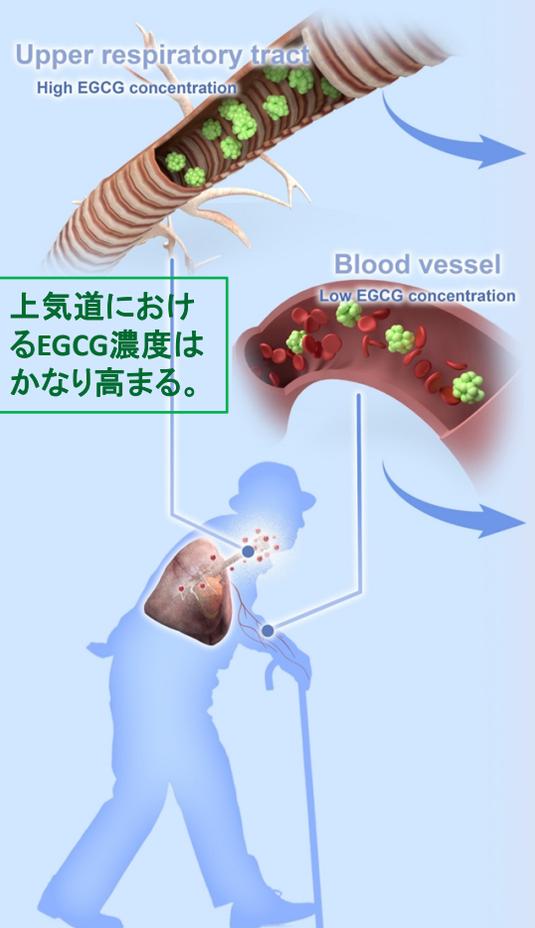




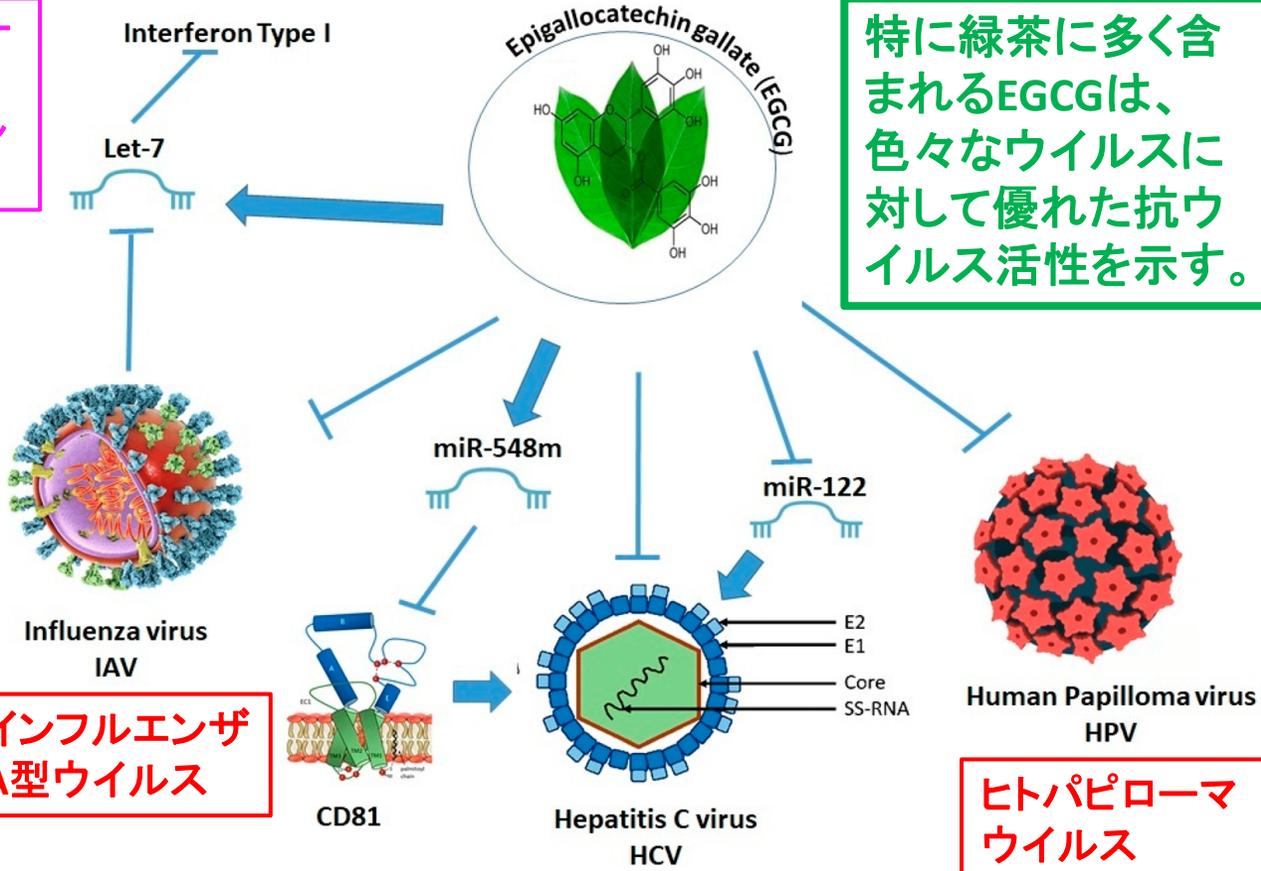
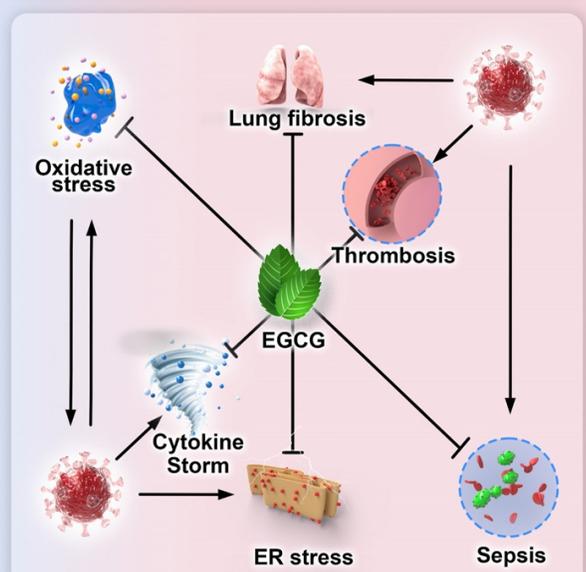
茶葉を粉にして丸ごと飲めば、最大量のEGCGを得ることができる。感染が気になる場所では緑茶を携帯し、30分～1時間おきに少しずつ飲めば完璧。

EGCG(エピガロカテキン3-ガレート)は、SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)のスパイクタンパク質とACE2との結合を阻止、同ウイルスが作り出す酵素Nsp15や膜タンパク質Mの活性を阻害、その他、肺線維症、酸化ストレス、サイトカインストーム、小胞体ストレス、敗血症、血栓症などを抑制する。

EGCGは、インフルエンザA型ウイルス(IAV)、C型肝炎ウイルス(HCV)、ヒトパピローマウイルス(HPV)を直接的に阻害する。その他、IAVが阻害するlet-7をアップレギュレートしてインターフェロンの発現を増加させる。また、miR-548mの発現をアップレギュレートし、それがCD81の発現を阻害することによって抗HCV活性を発揮する。また、miR-122をダウンレギュレートして抗HCV活性を発揮する。



新型コロナ
ウイルス
<オミクロン
変異株>



特に緑茶に多く含まれるEGCGは、色々なウイルスに対して優れた抗ウイルス活性を示す。

インフルエンザA型ウイルス

C型肝炎ウイルス

ヒトパピローマウイルス

(原図の出典：
<https://doi.org/10.3390/nu15224719>)

(原図の出典：<https://doi.org/10.1016/j.tifs.2022.12.012>)